# 教科・領域【 芸術 】 科目【 美術 I 】

学科・コース	インテリア 電子機械 情報技術	学 年	第1学年	単位数	2 単位
--------	--------------------	-----	------	-----	------

# 1 学習内容と学習到達目標

- (1) フォルム、明暗、構図、遠近感、質感など絵画に必要な基本的な描写力を身につける。
- (2)配色,画面構成,レタリング,着彩の技法などデザイン表現に必要な基本的表現力を身につける。
- (3) さまざまな芸術作品に接することにより鑑賞の能力を高める。

# 2 使用する主な教材等

(1) 使用教科書,副教材等 光村図書 美術 1

自作教材プリント, 自己評価記入カード

(2) 授業で配布するもの スケッチブック,アクリル絵具セット,パネル板,ワークシート,キャンバスボード,ケント紙,クレイ粘土

#### 3 年間の学習計画等

学期	学 習 内 容	月	学習のねらい	備 考 (特記事項や他教科との関連等)	考査範囲等
	1 オリエンテーション	4	高等学校美術 I の内容と心構 えを理解する。		考査なし
_	2デッサン 静物デッサン	5	・対象を観察する力,光と陰, 量感,質感を表現する力を身 につける。	・鉛筆 ・ケント紙 ・カッターナイフ	
	3 デザイン ロゴ文字 色面分割構成	6	・スケッチブックにデザイン することを通して, 色彩, 構 成の能力を習得する。	・エスキース ・スケッチブック ・アクリル絵の具	
学	4 鑑賞	7	・教科書の作品より、鑑賞能力を高める。	・教科書 ・ワークシート	

# 《課題・提出物等》

<デッサン>作品2点,授業用プリント,自己評価表〈鑑賞〉ワークシート1枚,自己評価表 <デザイン>作品1点,エスキース1点,授業プリント(色彩演習)自己評価表

《1学期の学習状況の評価方法》

# <評価の観点>

- ・意欲・関心・態度
- ・表現技能

期

- ・発想や構想の能力
- ・鑑賞能力
- ・作品は必ず提出すること。・遅刻をしない。・忘れ物をしない。・自分の作品をたいせつに。

学期	学 習 内 容	月	学習のねらい	備 考 (特記事項や他教科との関連等)	考査範囲等
=	1アクリル画	9 10 11	絵の具の使い方と基本技能を習得する。 ・画面構成・構図を考えさせる。 ・混色の仕方を理解させる。 ・筆のタッチやナイフによる表現効果を知る。	<ul><li>・アクリル絵具</li><li>・参考作品</li><li>・キャンバス</li><li>・モチーフ</li><li>・下絵デッサン</li></ul>	考査なし
学	2 彫刻 粘土造形	12	イメージに即したデザイン (形)を考える。 ・彫りの種類を理解する。	・エスキース	

期

《課題・提出物等》

<アクリル画>完成作品1点,下絵デッサン,自己評価表

<彫刻> 完成作品1点, エスキース1点, 自己評価表

《2学期の学習状況の評価方法》

<評価の観点>

- ・意欲・関心・態度
- ・表現技能
- ・発想や構想の能力
- · 鑑賞能力
- ・作品は必ず提出すること。・遅刻をしない。・忘れ物をしない。・自分の作品をたいせつに。

	1デザイン	1	自然物・人工物・抽象より平面	・エスキース	考査なし
三	平面構成		構成させる。	・デザインセット	
			・水貼りを体験する。	・ボンド	
学		2	・色彩計画を立てさせる。	・パネル板	
			・平塗りの技術を習得する。		
期			・モダンテクニックの技術を習		
			得する。		
	2 鑑賞	3	郷土の作家の作品より鑑賞力	<ul><li>資料</li></ul>	
	郷土の作家から学ぶ		を高める。	・美術館の歩き方	
			・郷土の作品を鑑賞する。		

《課題・提出物等》

<デザイン>完成作品 1 点, 1 点, 1 点, 授業プリント (平塗り演習等), 自己評価表 1 会鑑賞| 授業用プリント | 枚

《3学期の学習状況の評価方法》

<評価の観点>

- ・意欲・関心・態度
- 表現技能
- ・発想や構想の能力
- ・鑑賞能力
- ・作品は必ず提出すること。・遅刻をしない。・忘れ物をしない。・自分の作品をたいせつに。

《年間の学習状況の評価方法》

1学期~3学期の平均。

作品の完成度だけでなく、毎時間の授業への取り組みの姿勢が反映されるような評価を考慮する。欠席した場合は、その時間の学習内容について授業担当者のところに聞きに行き、放課後等 を利用して補充することが望ましい。